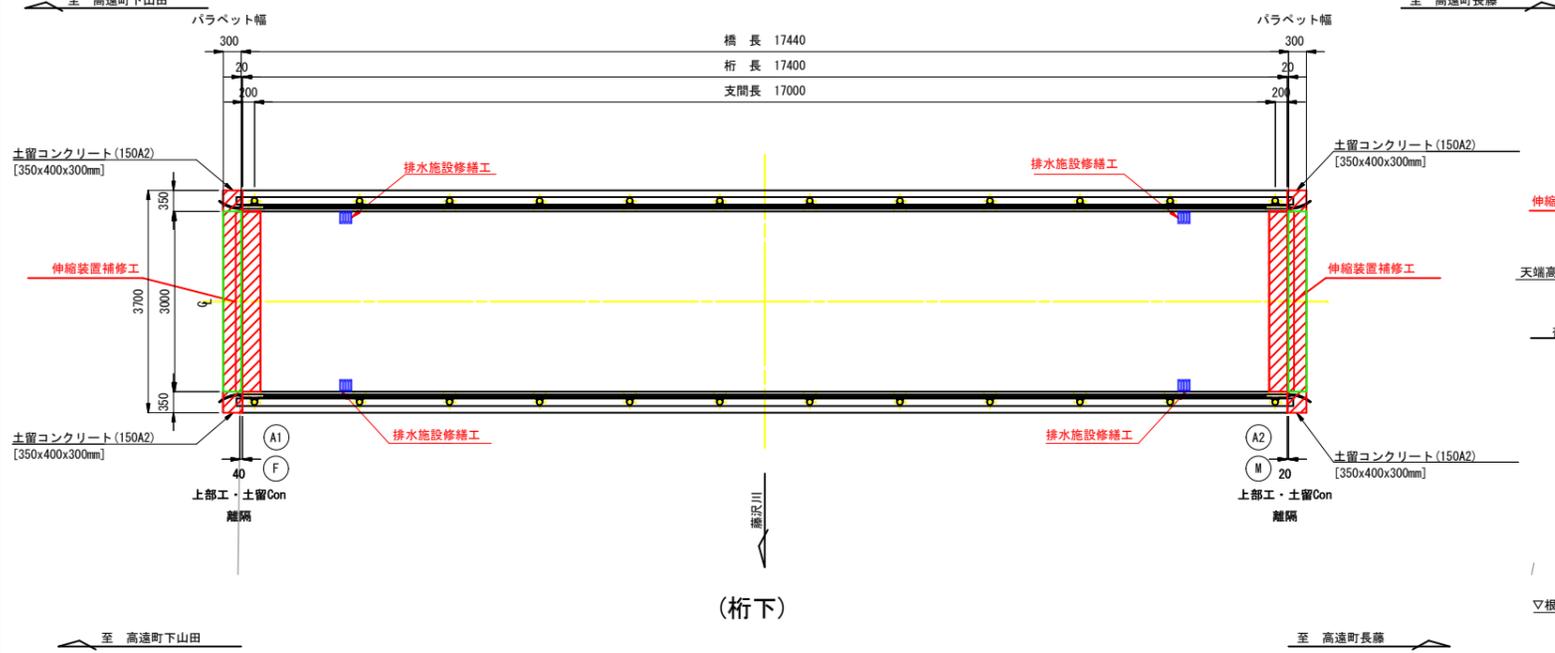
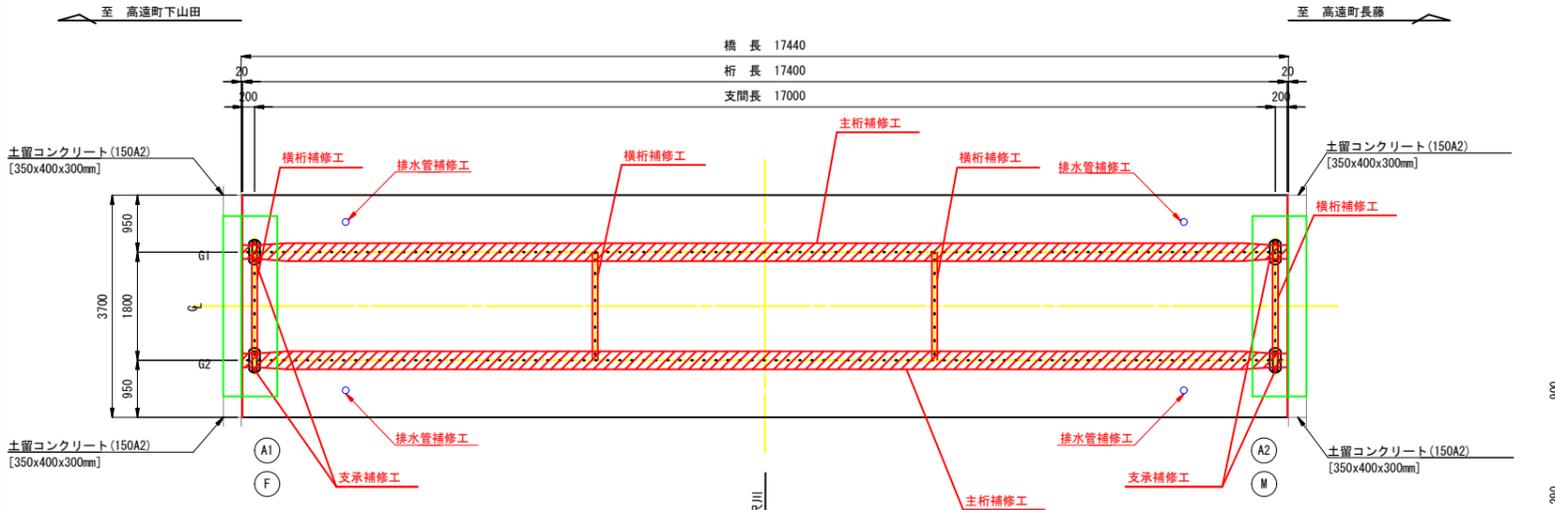


新館橋 補修一般図

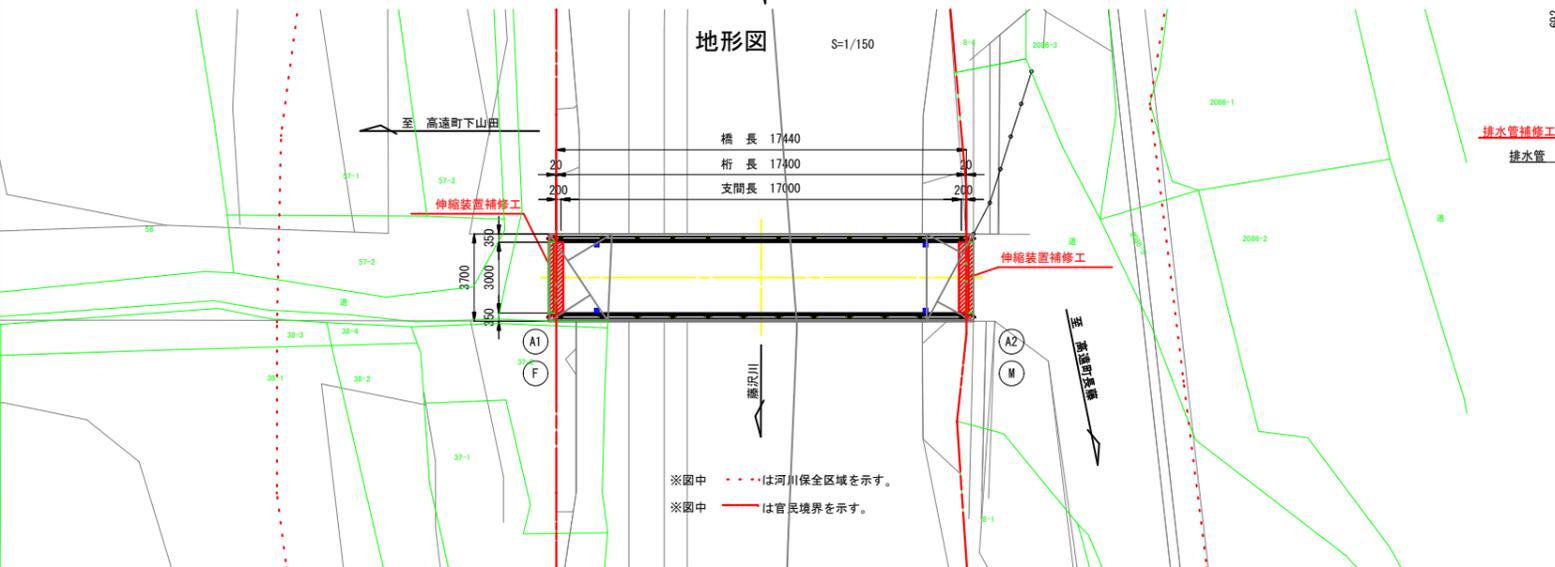
平面図 S=1/60



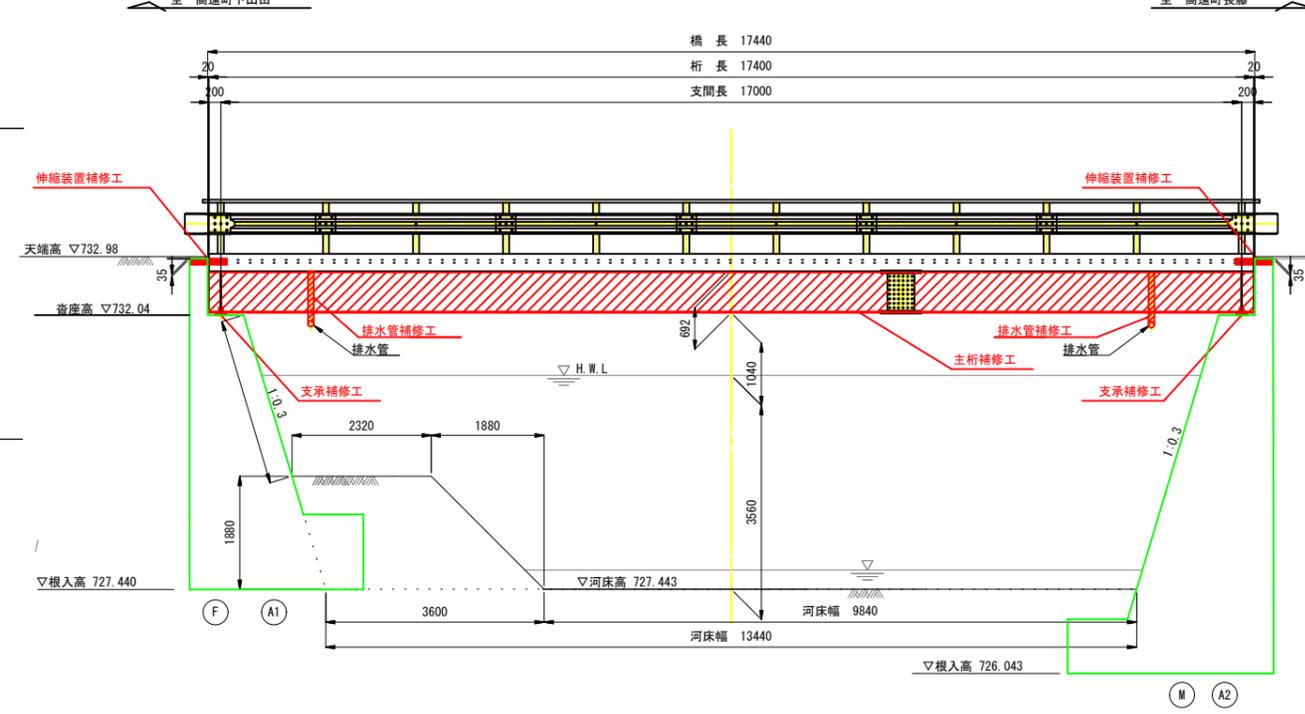
(桁下)



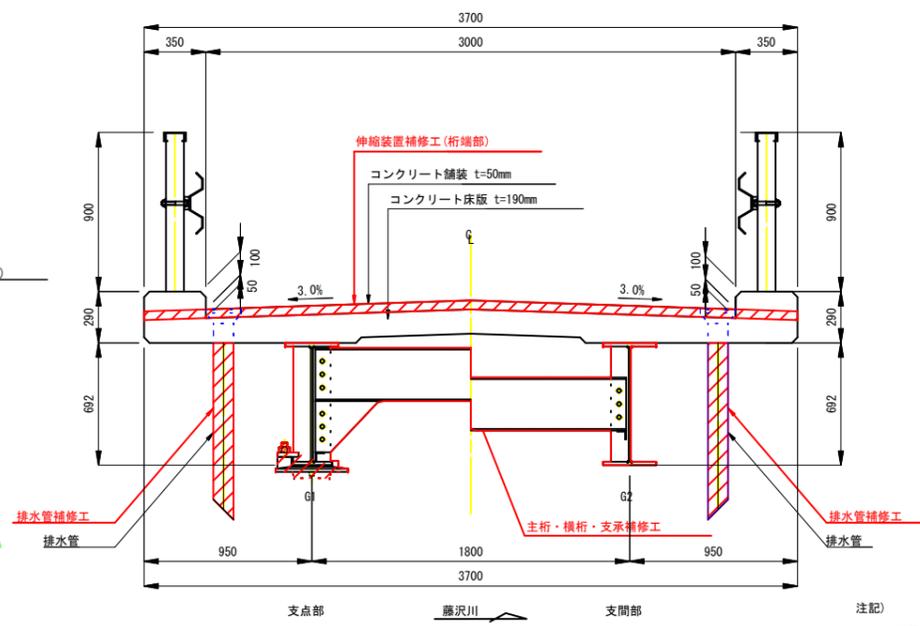
地形図 S=1/150



側面図 S=1/60



断面図 S=1/20



- 注記)
1. 本図面は既往資料及び現地計測結果を元に作成しているが、一部推定の箇所もあることから、使用の際は注意すること。
 2. 支承の固定・可動については写真判別のうえで設定している。現地で確認すること。

補修項目一覧表

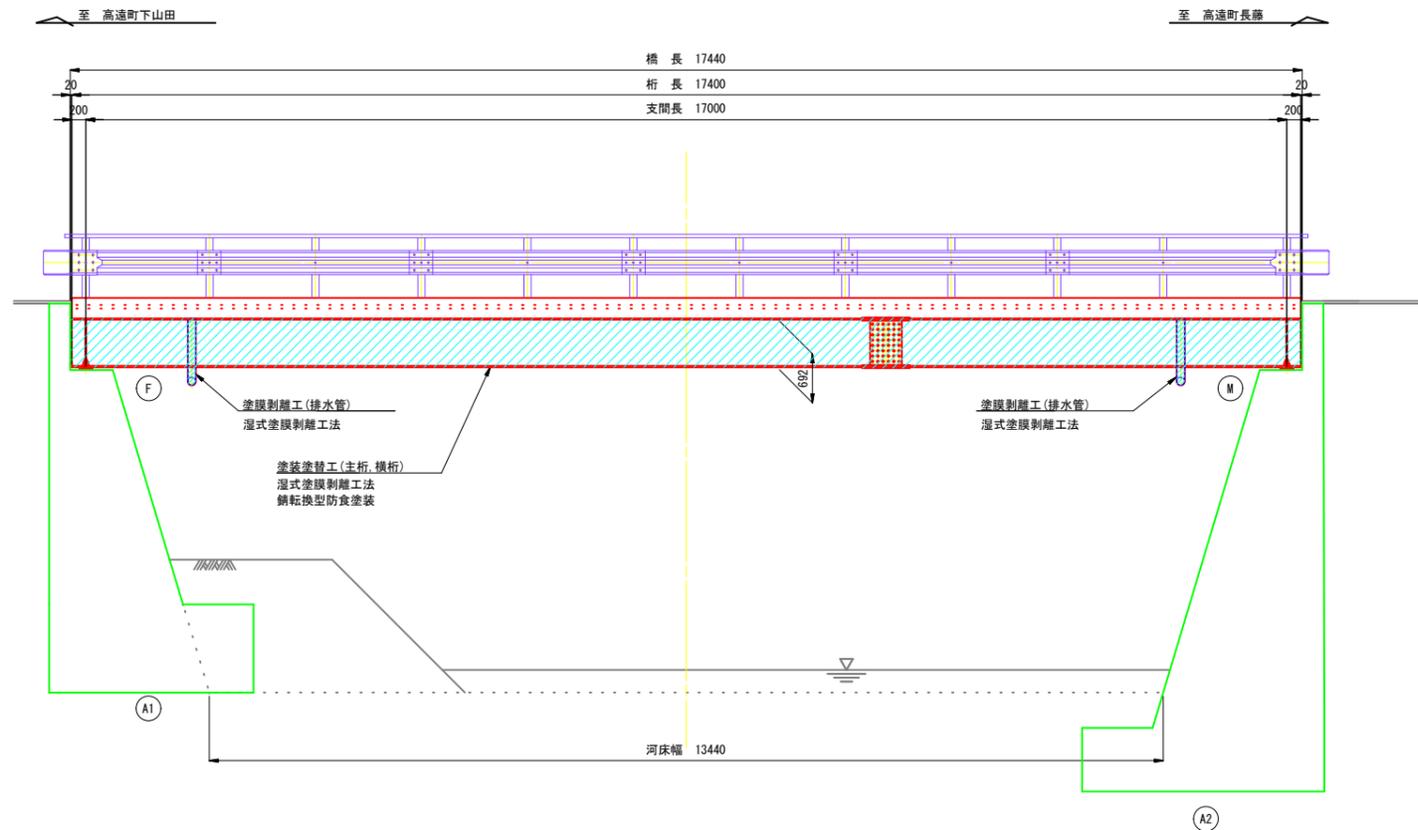
設計項目	部材	工程	詳細	
鋼部材補修工	上部工	塗膜剥離・異地調整工	水性塗膜剥離剤+2種ケレン	
		塗装工	錆転換型塗装	
	支承	支承本体	上部工と共通	
伸縮装置補修工	遊間部	塗膜剥離・異地調整工	水性塗膜剥離剤+2種ケレン	
		排水施設修繕工	既設排水樹撤去、新規排水樹設置	
		A1	遊間部補修工	止水目地材設置工
		A2	"	"

令和7年度 橋梁長寿命化事業 新館橋補修工事		
番号	1/7	新館橋 補修一般図 縮尺 図示
新館橋		
伊那市 高遠町 長藤		
設計会社	株式会社 日本インシーク	
測量会社		
調査会社		
伊那市 建設部 建設課		

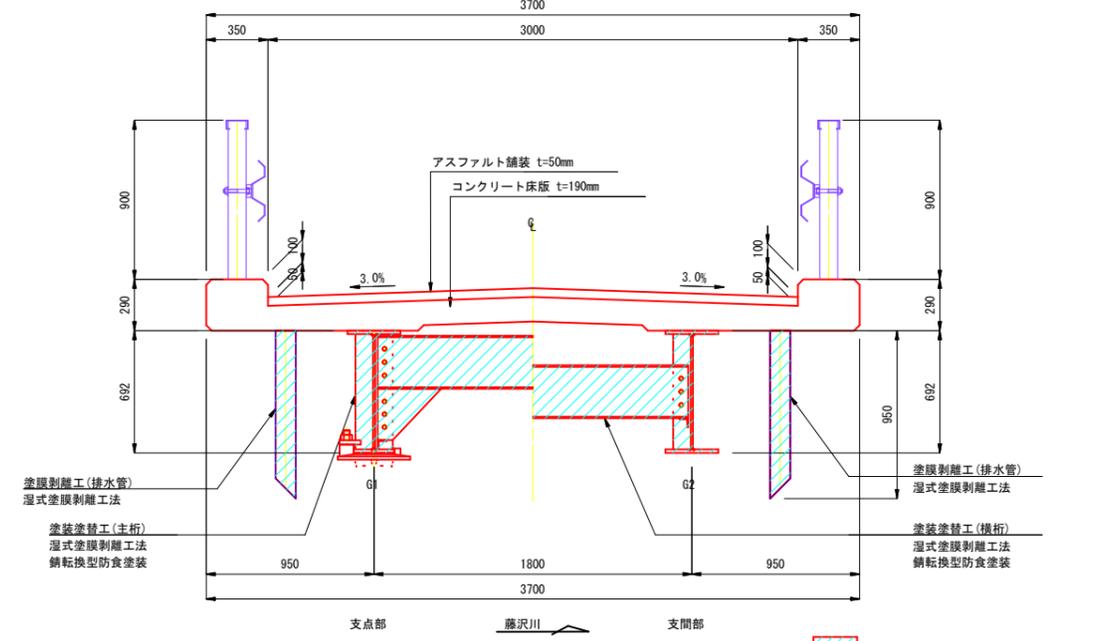
新館橋 上部構造補修工図(その1)

(塗装塗替工)

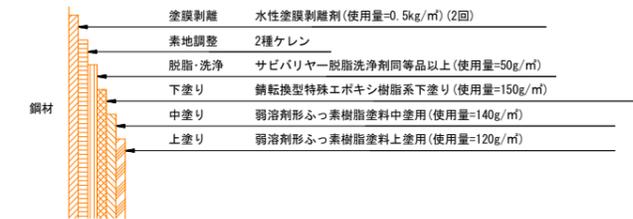
側面図 S=1/50



断面図 S=1/20

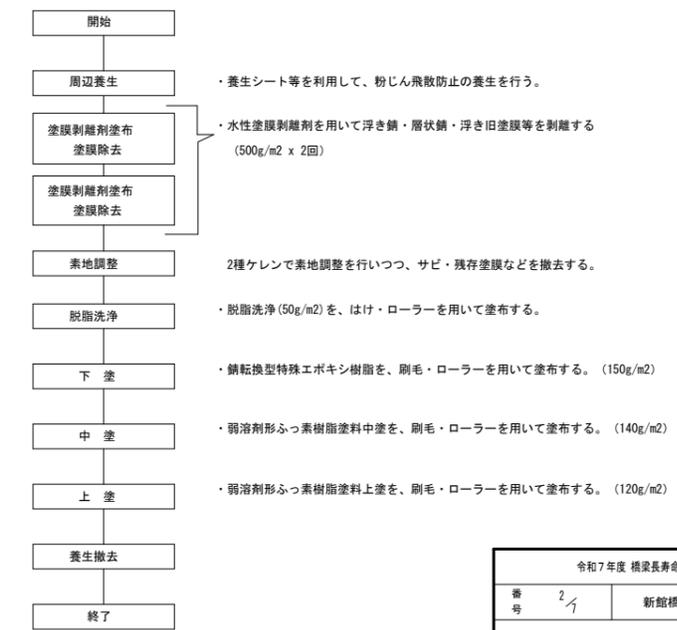


塗替え塗装 (錆転換型特殊塗装系)

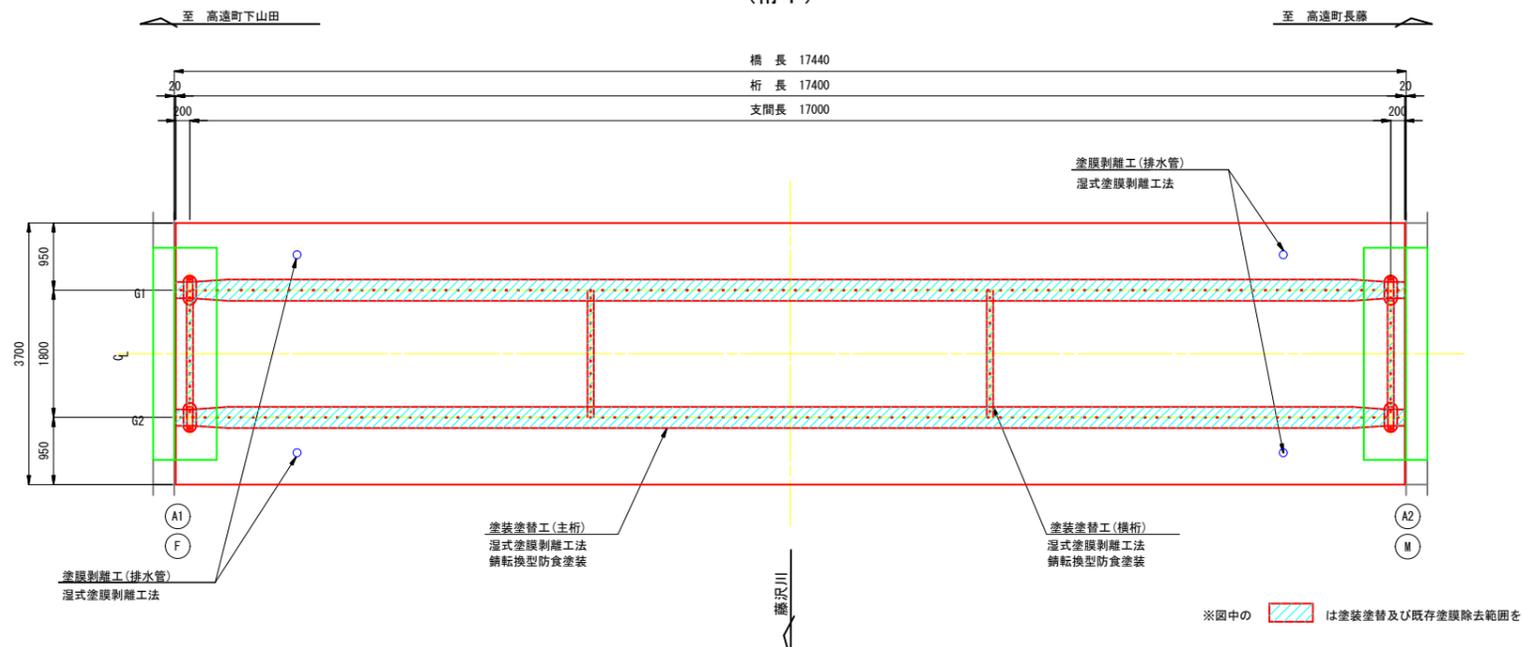


- 塗膜剥離 水性塗膜剥離剤(使用量=0.5kg/m²)(2回)
- 素地調整 2種ケレン
- 脱脂・洗浄 サビバリヤー脱脂洗浄剤同等品以上(使用量=50g/m²)
- 下塗り 錆転換型特殊エポキシ樹脂系下塗り(使用量=150g/m²)
- 中塗り 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗り(使用量=140g/m²)
- 上塗り 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り(使用量=120g/m²)

塗装塗替作業フロー



(桁下)



錆転換型特殊塗装系(刷毛・ローラー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	膜厚 (μm)	塗装間隔
塗膜剥離	水性塗膜剥離剤 (2回)	500	-	-
素地調整	2種ケレン	-	-	-
脱脂・洗浄	サビバリヤー脱脂洗浄剤 (CB-170003-A) 同等品以上	50	-	4時間以内 1日~10日
下塗り	錆転換型特殊エポキシ樹脂系下塗り (サビバリヤー下塗り剤 (CB-170003-A) 同等品以上)	150	70	1日~10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗り	140	-	1日~10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り	120	-	1日~10日

数量表

名称	品名又は仕様	単位	数量	備考
塗膜剥離剤塗布工	塗膜剥離剤	m ²	105.73	主桁・横桁・排水管
	塗膜剥離剤	m ²	105.73	主桁・横桁・排水管
素地調整	2種ケレン	m ²	105.73	主桁・横桁・排水管
塗装面積	錆転換型特殊エポキシ樹脂系塗料	m ²	104.38	主桁・横桁

注記)

- 本図面は既往資料及び現地計測結果を元に作成しているが、一部推定の箇所もあることから、使用の際は注意すること。
- 補修工事に先立って必ず現地計測を行い、現地状況を確認すること。
- 必ず現地にて補修箇所及び数量を確認の上で、施工を行うこと。また、必要に応じて変更等の見直しを行うこと。
- 本図面で使用の製品と同等品以上のものを使用すること。

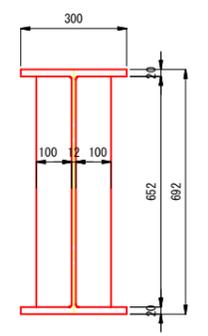
令和7年度 橋梁長寿命化事業 新館橋補修工事			
番号	27	新館橋 上部工補修工図(その1)	縮尺 図示
新館橋			
伊那市 高遠町 長藤			
設計会社	株式会社 日本インシーク		
測量会社			
調査会社			
伊那市 建設部 建設課			

新館橋 上部構造補修工図(その2)

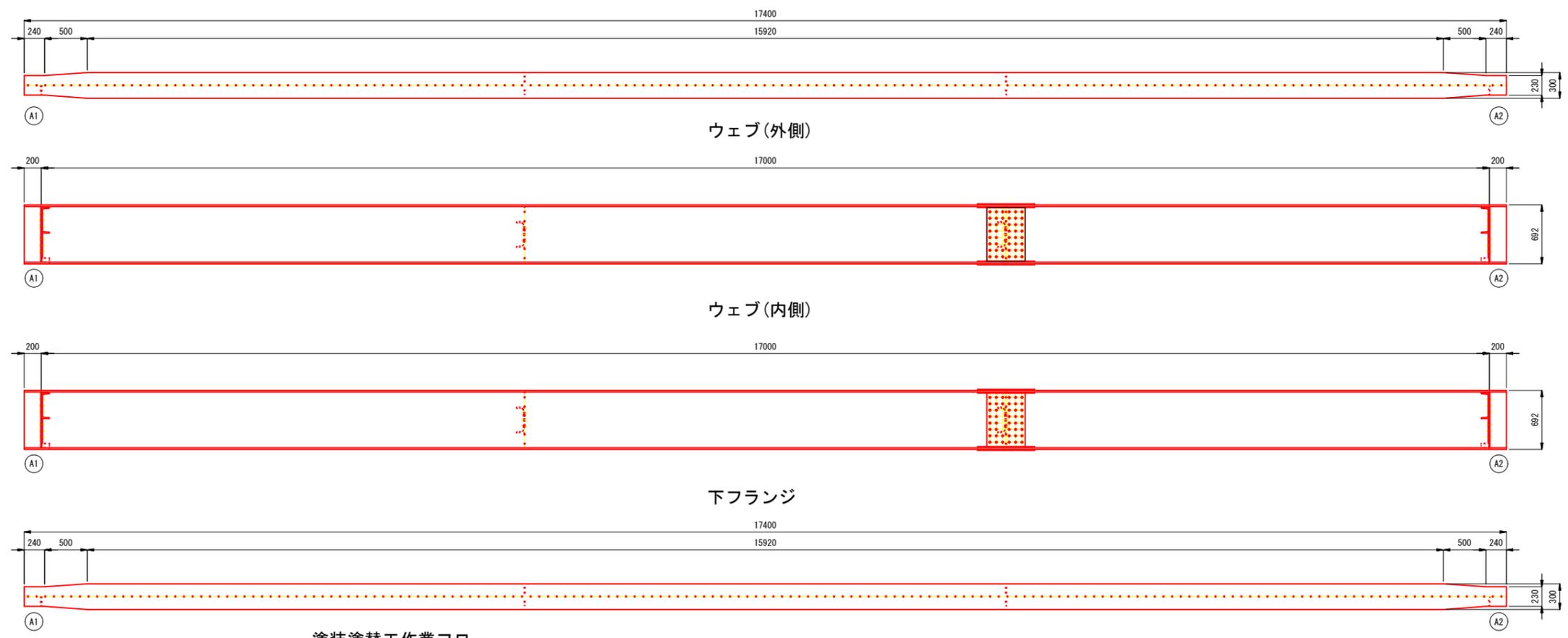
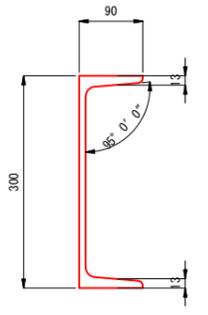
(塗装塗替工)

主桁詳細図
上フランジ S=1/30

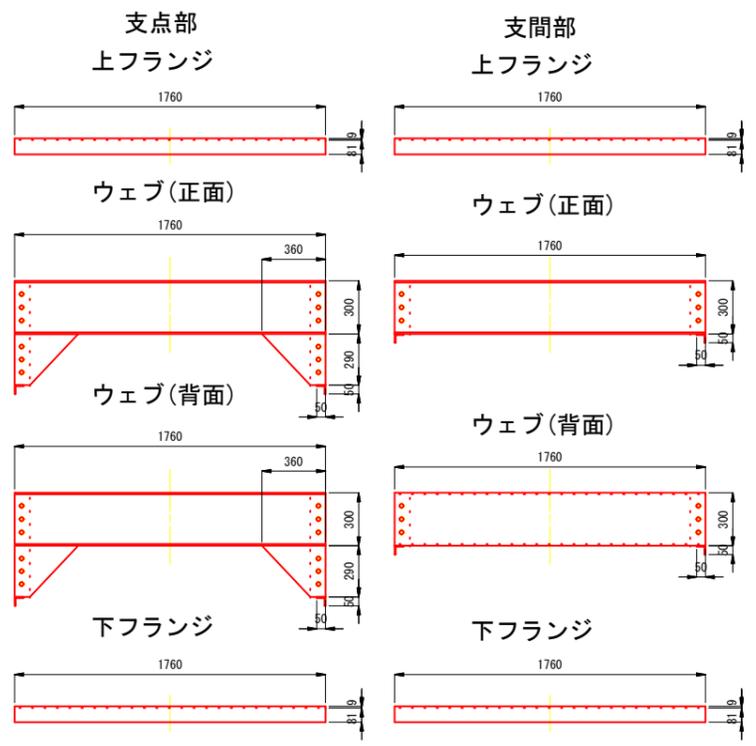
主桁断面図 S=1/10



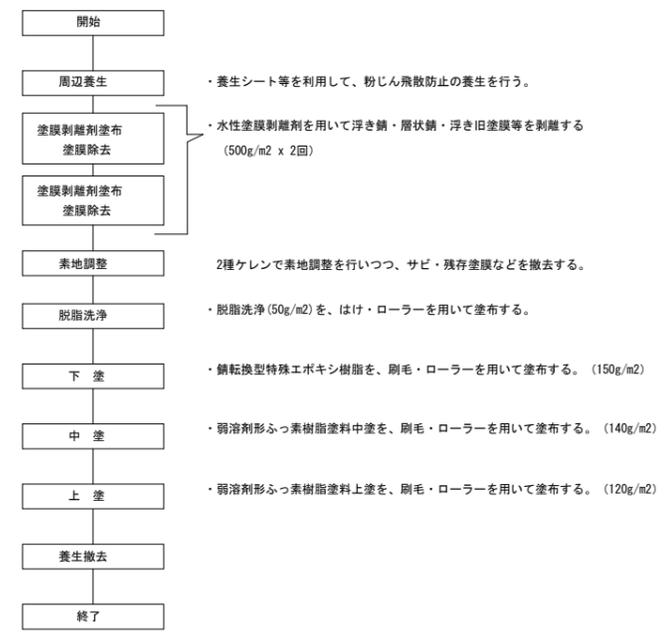
横桁断面図 S=1/5



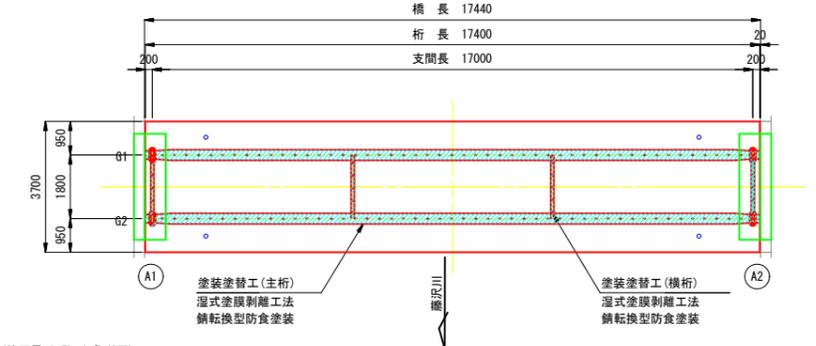
横桁詳細図 S=1/20



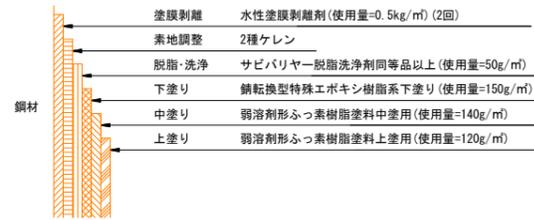
塗装塗替作業フロー



配置図 至 高遠町下山田 至 高遠町長藤



塗替え塗装 (錆転換型特殊塗装系)



- 注記) 1. 本図面は既往資料及び現地計測結果を元に作成しているが、一部推定の箇所もあることから、使用の際は注意すること。
2. 補修工事に先立って必ず現地計測を行い、現地状況を確認すること。
3. 必ず現地に於いて補修箇所及び数量を確認の上で、施工を行うこと。
また、必要に応じて変更等の見直しを行うこと。
3. 本図面で使用する製品と同等品以上のものを使用すること。

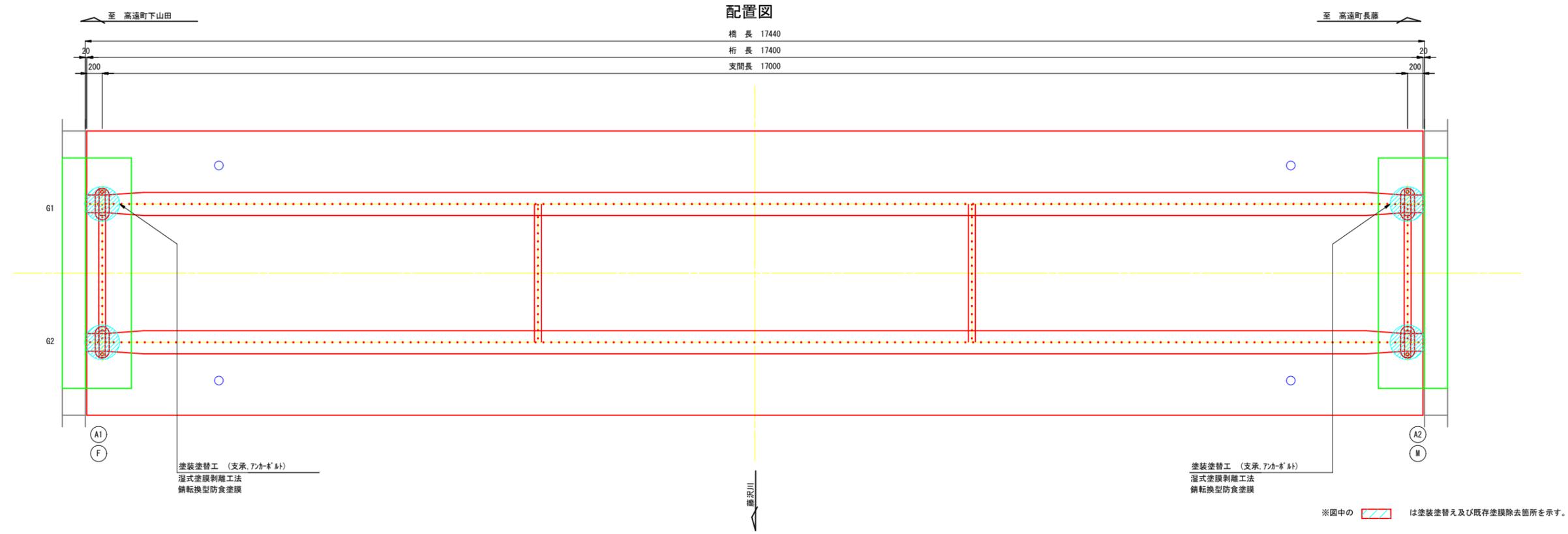
錆転換型特殊塗装系(刷毛・ローラー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	膜厚 (μm)	塗装間隔
塗膜剥離	水性塗膜剥離剤 (2回)	500	-	-
素地調整	2種ケレン	-	-	-
脱脂・洗浄	サビバリヤー脱脂洗浄剤同等品以上 (使用量=50g/m ²)	50	-	4時間以内
下塗り	錆転換型特殊エポキシ樹脂系下塗り (サビバリヤー下塗り剤 (CB-170003-A) 同等品以上)	150	70	1日~10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗り (使用量=140g/m ²)	140	-	1日~10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り (使用量=120g/m ²)	120	-	1日~10日

令和7年度 橋梁長寿命化事業 新館橋補修工事			
番号	名称	縮尺	図示
3/7	新館橋 上部工補修工図(その2)	縮尺	図示
新館橋			
伊那市 高遠町 長藤			
設計会社	株式会社 日本インシーク		
測量会社			
調査会社			
伊那市 建設部 建設課			

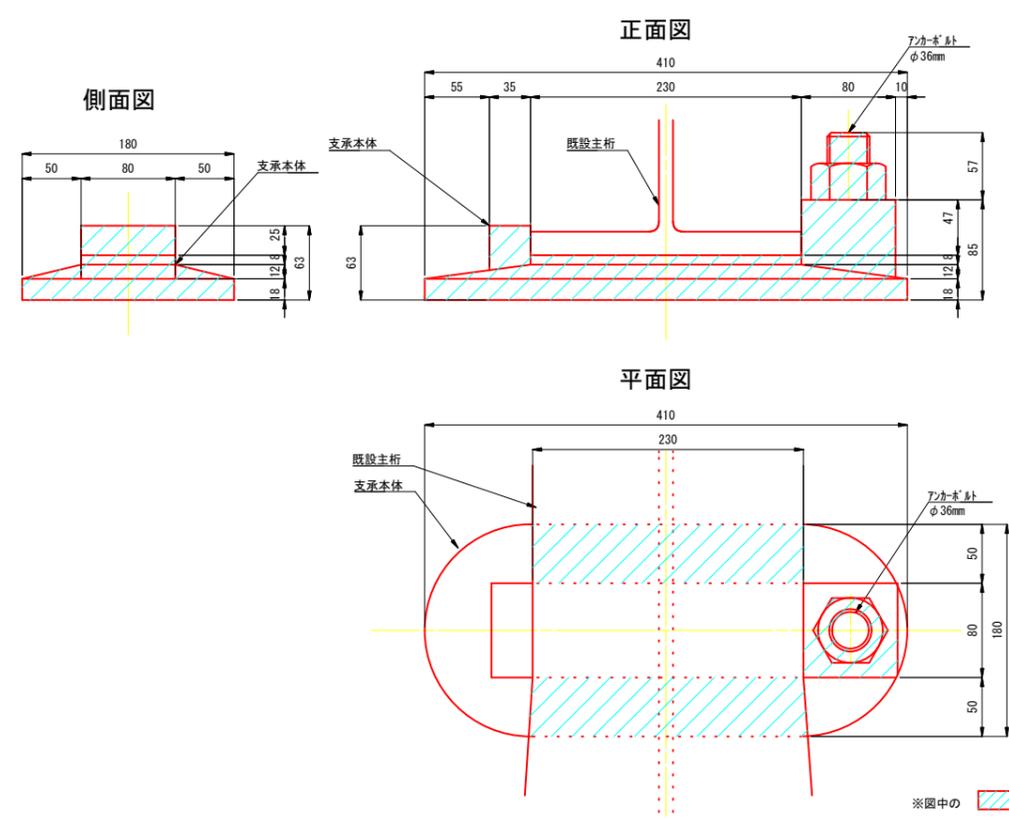
新館橋 支承補修工図

(塗装塗替工)



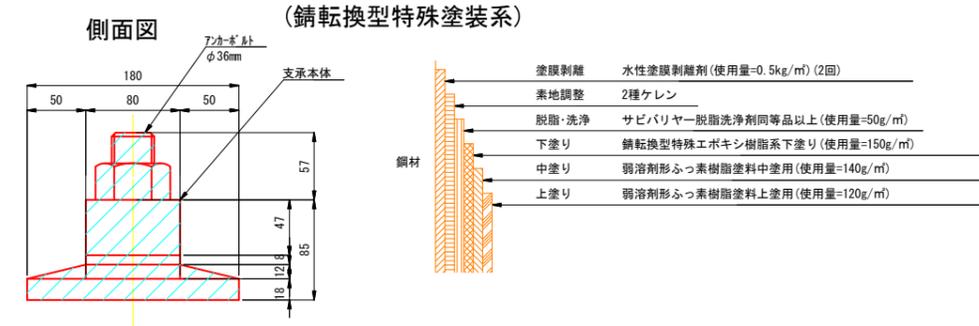
支承詳細図

S=1/3



塗替え塗装

(錆転換型特殊塗装系)



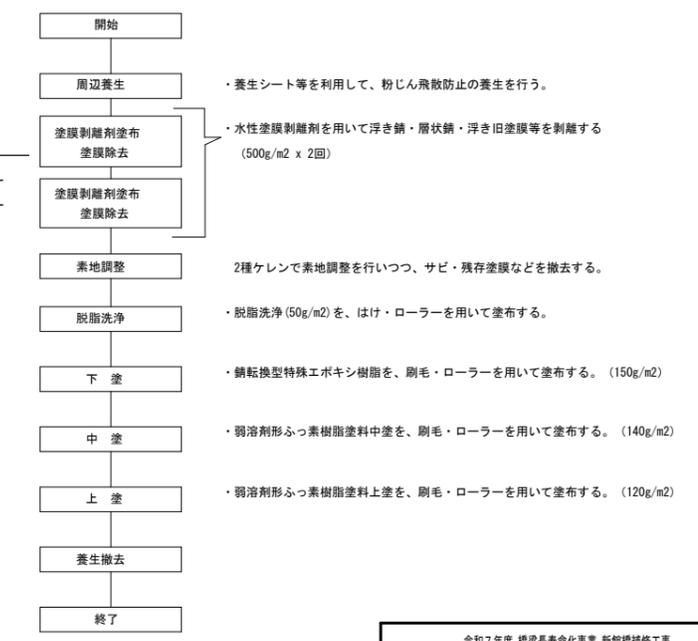
数量表

名称	品名又は仕様	単位	数量	備考
塗膜剥離剤塗布工	塗膜剥離剤	m ²	1.09	
	塗膜剥離剤	m ²	1.09	
素地調整	2種ケレン	m ²	1.09	
塗装面積	錆転換型特殊エポキシ樹脂系塗料	m ²	1.09	

錆転換型特殊塗装系(刷毛・ローラー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	膜厚 (μm)	塗装間隔
塗膜剥離	水性塗膜剥離剤 (2回)	500	-	-
素地調整	2種ケレン	-	-	4時間以内
脱脂・洗浄	サビバリヤー脱脂洗浄剤 (CB-170003-A) 同等品以上	50	-	1日~10日
下塗り	錆転換型特殊エポキシ樹脂系下塗り (サビバリヤー下塗り剤 (CB-170003-A) 同等品以上)	150	70	1日~10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗り	140	-	1日~10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り	120	-	1日~10日

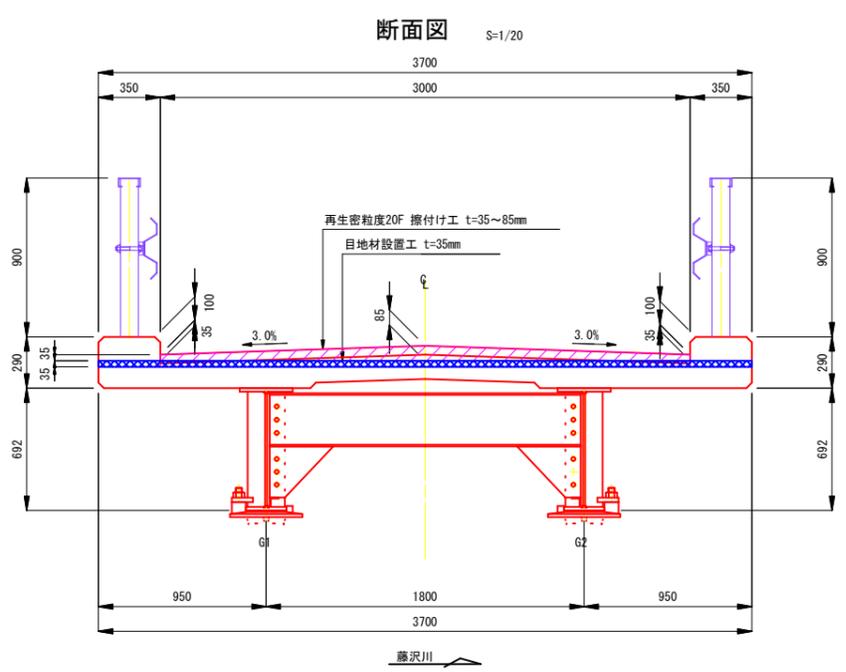
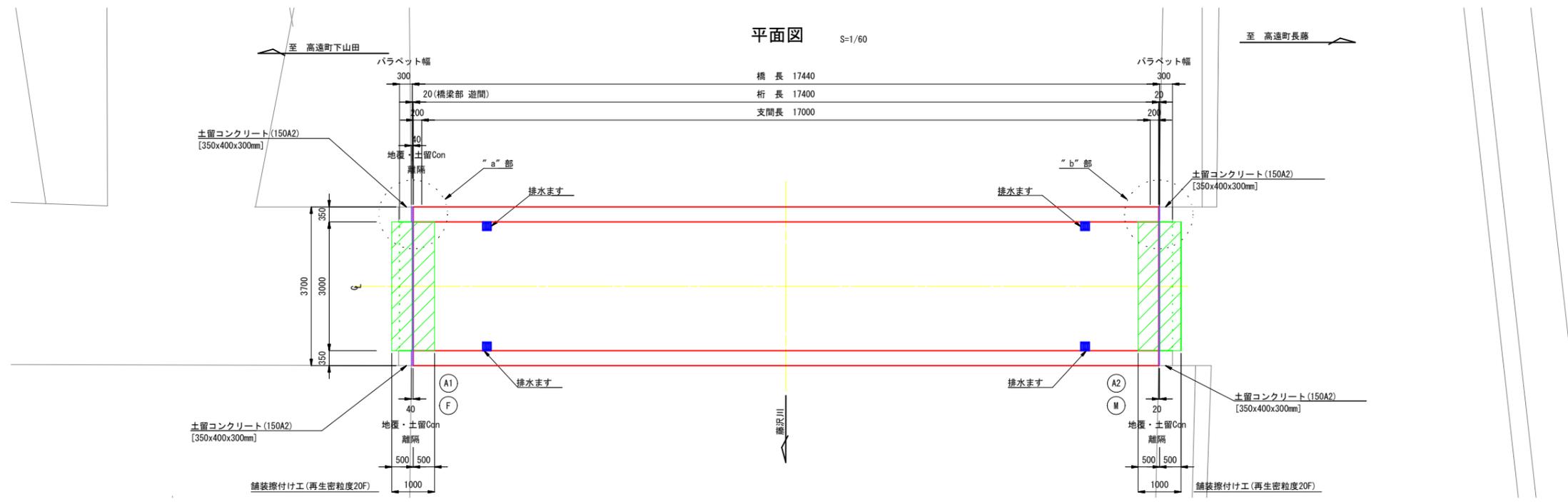
塗装塗替作業フロー



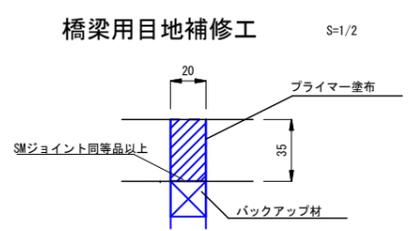
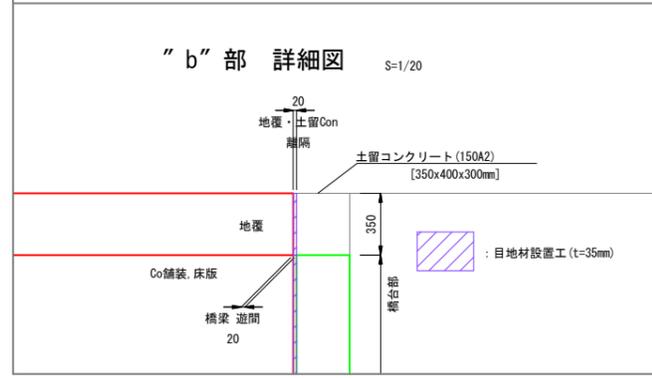
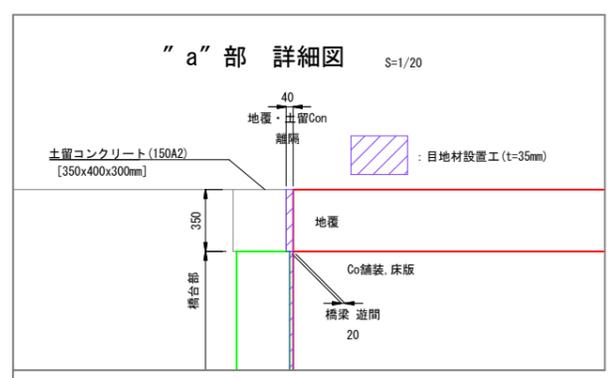
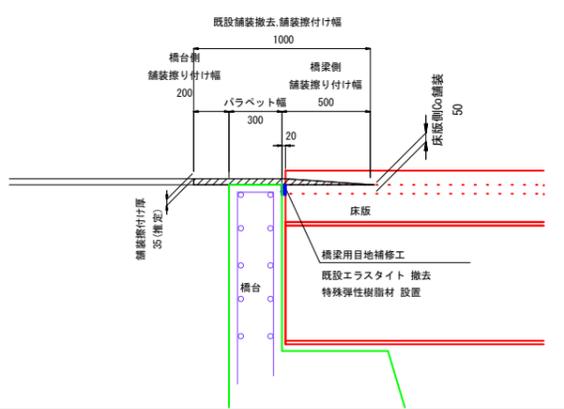
- 注記)
- 本図面は既往資料及び現地計測結果を元に作成しているが、一部推定の箇所もあることから、使用の際は注意すること。
 - 補修工事に先立って必ず現地計測を行い、現地状況を確認すること。
 - 必ず現地に補修箇所及び数量を確認の上で、施工を行うこと。また、必要に応じて変更等の見直しを行うこと。
 - 本図面で使用する製品と同等品以上のものを使用すること。

令和7年度 橋梁長寿命化事業 新館橋補修工事		
番号	47	新館橋 支承補修工図 縮尺 図示
新館橋		
伊那市 高遠町 長藤		
設計会社	株式会社 日本インシーク	
測量会社		
調査会社		
伊那市 建設部 建設課		

新館橋 遊間部補修工図



補修工要領 側面図 S=1/20



使用材料数量表 (施工幅20mm 施工厚35mm 10m当たり参考値)

名称	品名	数量
SMジョイントI型同等品以上	SMシール材 (特殊弾性樹脂材) 同等品以上	11.0 L
プライマー	1液ウレタン系プライマー	150 mL
バックアップ材	バックアップ材	10 m

数量表：遊間部補修工

工種	種別	規格	単位	数量	
遊間部補修工	遊間目地材 撤去・設置工	既設撤去工	遊間部既設エラスト撤去工	m	7.4
		設置工	設置工	m	7.4
	舗装撤去工	遊間目地材 設置工	SMシール材同等品以上必要量	缶	2
		舗装撤去工	SMプライマー同等品以上必要量	缶	1
		舗装板切断工	アスファルト舗装 t=60mm	m	6.00
		舗装板破砕工	アスファルト舗装 t=60mm	m2	6.00
	舗装工	搬送搬出	アスファルト搬送搬	m3	0.4
		搬送搬出	アスファルト処分	t	0.8
		舗装工	アスファルト舗装 t=60mm	m	6.00
		舗装工	再生密粒度20F	m	6.00

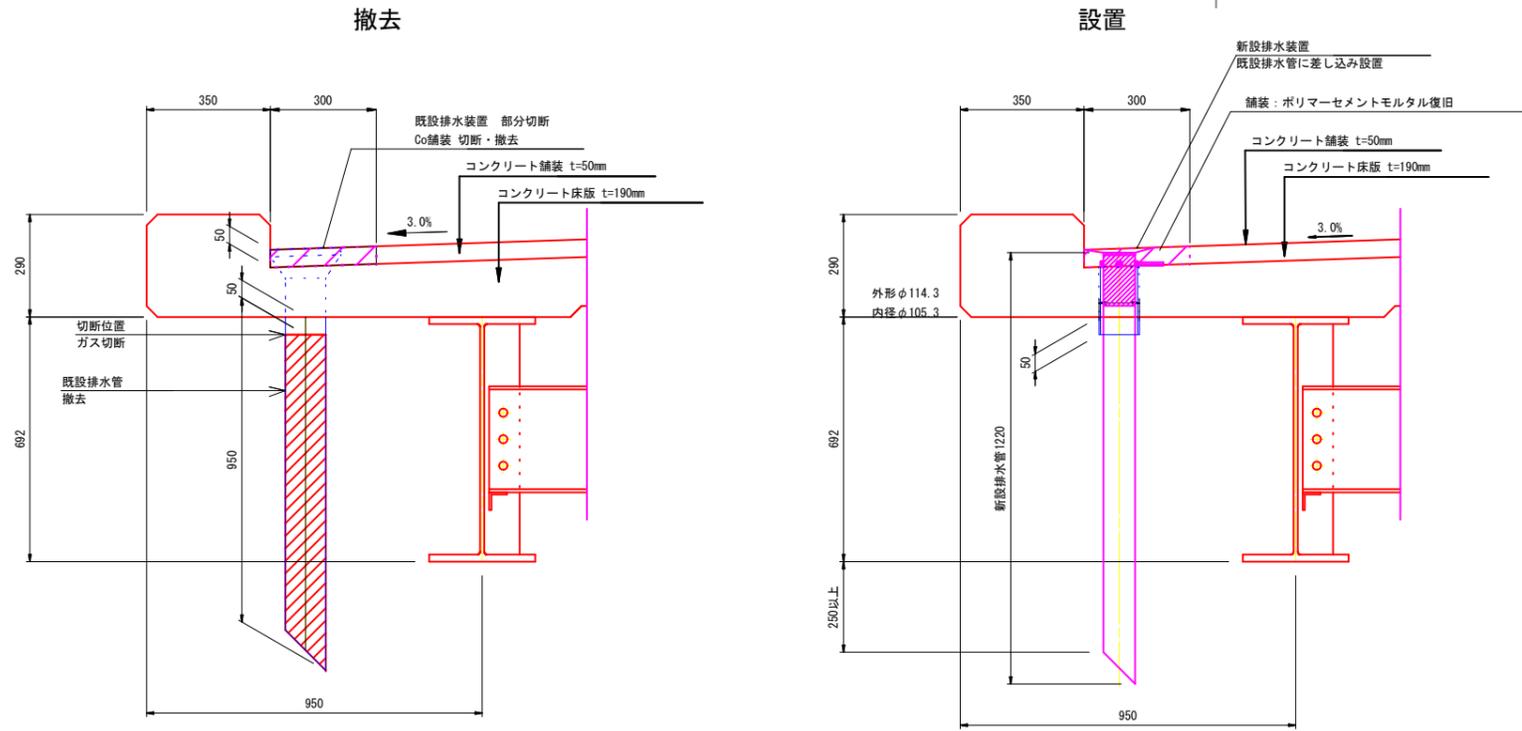
注記)
 1. 本図面は既往資料及び現地計測結果を元に作成しているが、一部推定の箇所もあることから、使用の際は注意すること。
 2. 支承の固定・可動については写真判別のうえで設定している。現地で確認すること。

令和7年度 橋梁長寿命化事業 新館橋補修工事		
番号 5/7	新館橋 遊間部補修工図	縮尺 図示
新館橋		
伊那市 高遠町 長藤		
設計会社	株式会社 日本インシーク	
測量会社		
調査会社		
伊那市 建設部 建設課		

新館橋 排水施設修繕工図

排水装置設置断面図

S=1/20



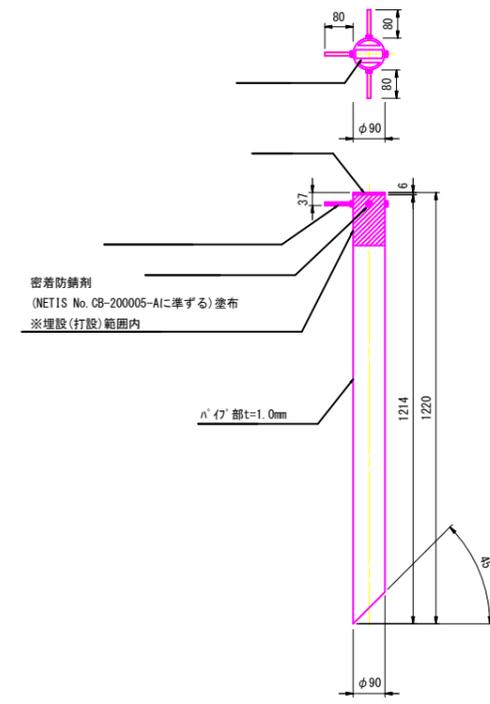
※ 図中の は既設撤去範囲を示す。
 ※ 既設の排水管 鋼材塗膜は切断前に、塗膜剥離剤(2回塗り)により撤去を行う。

撤去排水装置数量 (N=4)
 1-SGP 100A x 950

TSステンレス排水柵詳細図 S=1/20

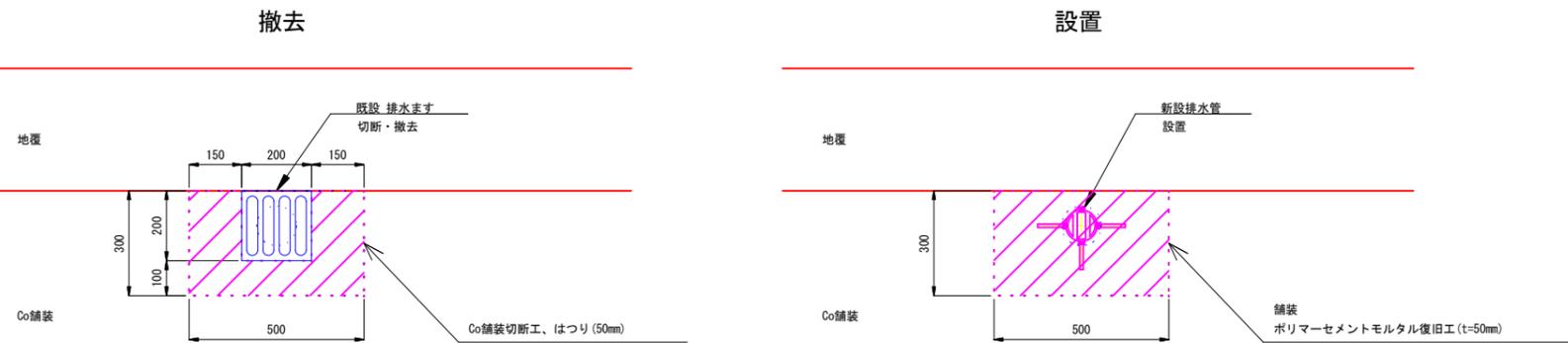
床版貫通型(全ねじタイプ)

TSDR-MH同等品以上
 製作数=4



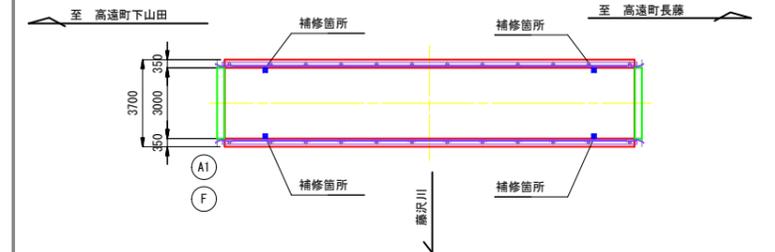
施工時平面図

S=1/20



地形図

S=1/300



数量表：排水施設修繕工

工種	種別	規格	単位	数量
排水装置 補修工	既設撤去工	切断工	ガス切断	m 1.4
		撤去鋼材		t 0.05
	新設設置工	TSステンレス排水装置 床版貫通型 目皿付		基 4
		設置延長		m 5
	舗装撤去工	舗装版切断工	コンクリート舗装	m 7
		舗装版破砕工	コンクリート舗装	m ² 0.8
		搬運搬出処理	コンクリート搬出	m ³ 0.04
		無筋コンクリート処分		t 0.1
		舗装復旧工	ポリマーセメントモルタル	m ³ 0.05

注記

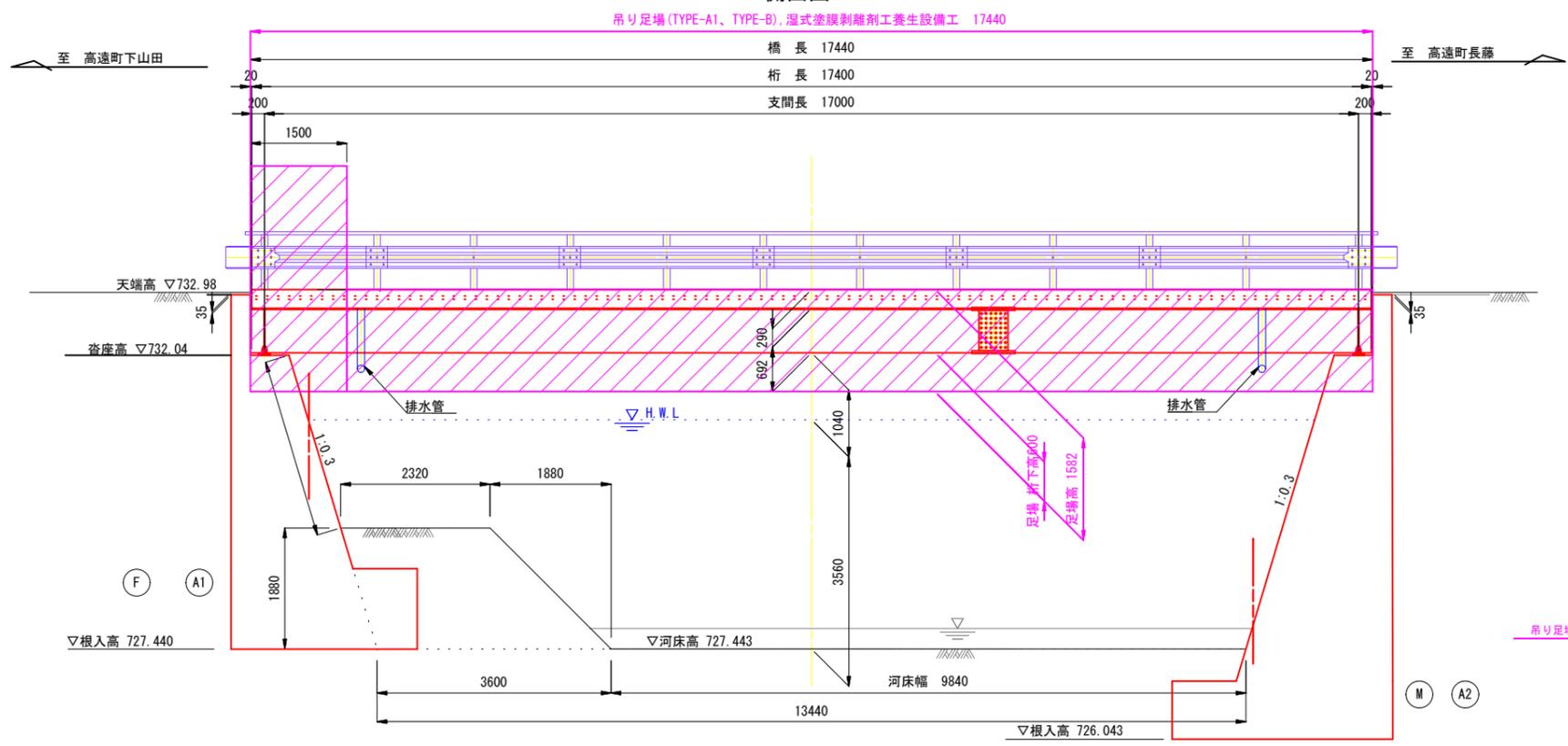
- 特記なき材質はすべてSUS304とする。
- 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
- t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し耐食性向上の措置を講じる。
- 現地調査にて寸法確定後製作する。

令和7年度 橋梁長寿命化事業 新館橋補修工事			
番号	6 / 7	新館橋 排水施設修繕工図	縮尺 図示
新館橋			
伊那市 高遠町 長藤			
設計会社	株式会社 日本インシーク		
測量会社			
調査会社			
伊那市 建設部 建設課			

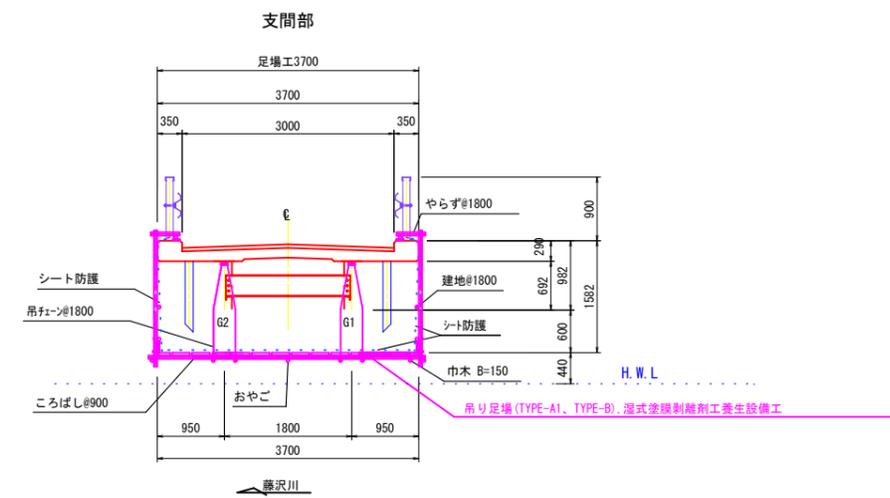
新館橋 仮設計画図(参考図)

S=1:50

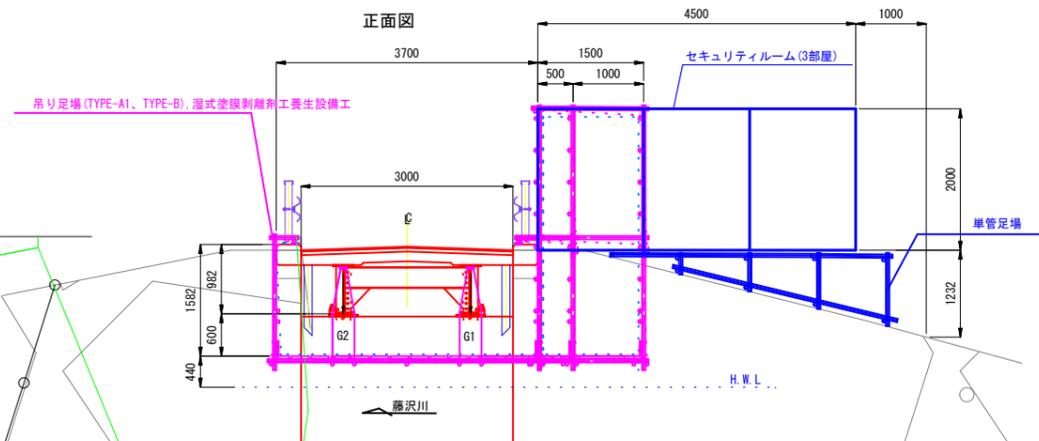
側面図



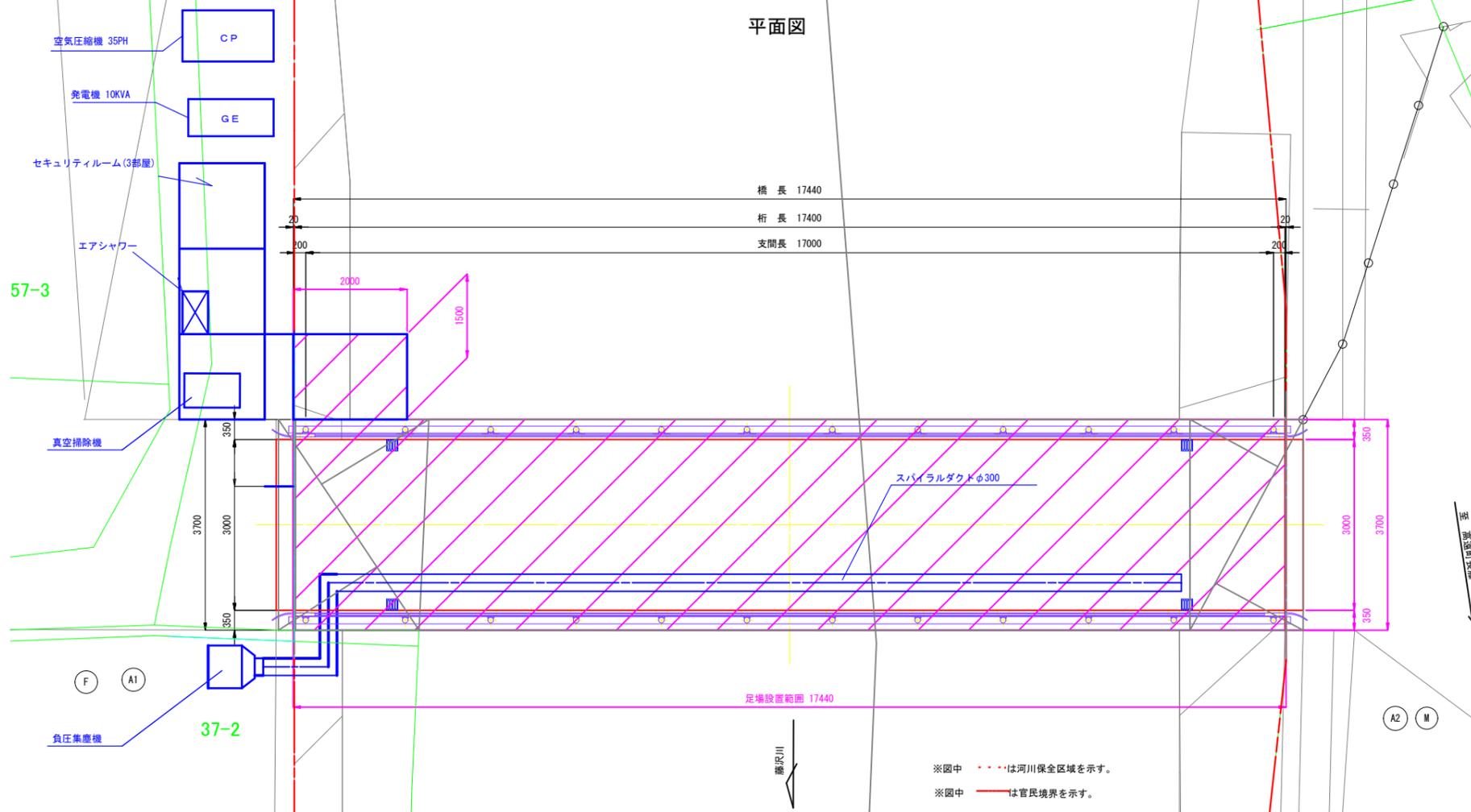
断面図



桁端部(A1橋台)



平面図



道

- 道
1. 本図は参考図である。
 2. 足場設置においては、現地状況及び作業性を考慮し配置すること。
 3. 本図に示す単管間隔及び高さ等は参考である。
 4. 足場工は、吊り足場を基本とする。
 5. 施工時の塗装飛散防止、微細物落下防止等として板張、シート防護を全面にわたって行うこと。
 6. 施工前に現地状況を確認し、足場方法については適宜変更すること。
 7. クリーンルーム設置箇所についてはA1側(左岸)上流側に設置を計画しているが、施工時に設置困難と判断される場合は位置を再度設定すること。
 8. クリーンルームは強風等の影響を受けないよう、ロープ等を用いて固定すること。
 9. 橋梁塗膜を外側に出さないよう、仮設足場内は密閉すること。

吊り足場 (TYPE-A1)	A=67.53m ²
朝顔足場 (TYPE-B)	A=67.53m ²
湿式塗膜剥離剤工養生設備工	A=135.06m ² (2回分)

令和7年度 橋梁長寿命化事業 新館橋補修工事		
番号 7/	新館橋 仮設計画図(参考図)	縮尺 図示
新館橋		
伊那市 高遠町 長藤		
設計会社	株式会社 日本インシーク	
測量会社		
調査会社		
伊那市 建設部 建設課		

※図中は河川保全区域を示す。
 ※図中は官民境界を示す。